

ウィルグループ、宮城県女川（女川向学館）にて「キャリア教育」特別授業を実施。

進路選択の意識向上のため、中学2年生に対し、全国から選抜された社員が自らの「進路選択の経験」をテーマに特別授業を実施します。

人材サービスを主力とする株式会社ウィルグループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長 池田 良介）の有志社員によるボランティアプロジェクト「WILLハート会(ウィルハート会)」は、東日本大震災で被災した子どもたちのために、認定NPO法人カタリバ（本部：東京都杉並区、代表理事：今村 久美）が運営する放課後学校「コラボ・スクール『女川向学館』」を支援しています。2016年2月3日（水）、『女川向学館』に通う中学2年生向けにウィルグループの若手社員（20～24歳男女4名）がキャリア教育の特別授業を実施します。

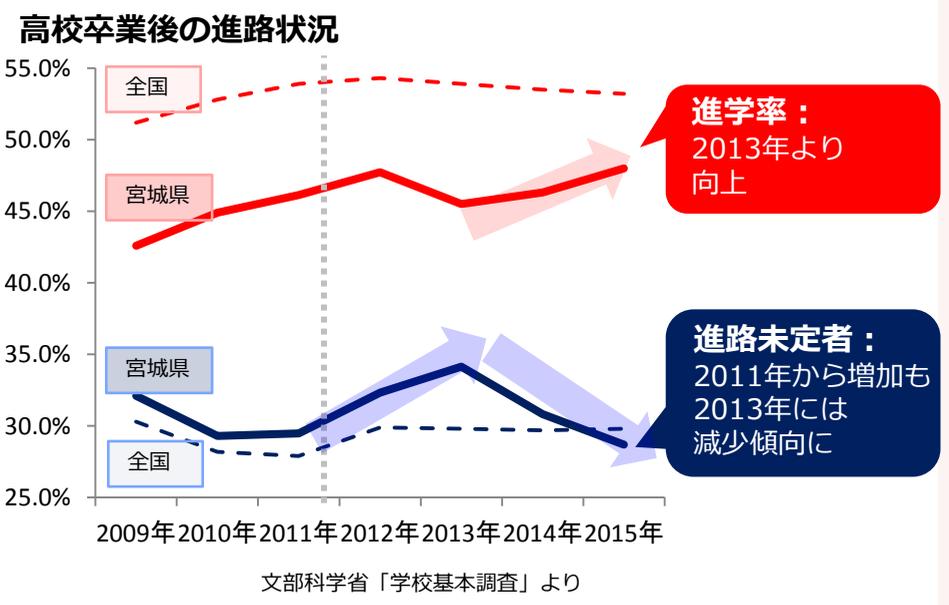
進路選択において重要な意味を持つ中学2年生の冬に、人材サービスを展開するウィルグループ社員からキャリアについて自身の体験を伝えることで、中学2年生のキャリア観のさらなる広がりを目指します。

高校を卒業した方の3割が「進路未定」。進路を決めるのに重要な岐路である中学2年生の冬に、「キャリアのプロ」から特別授業を行います。

震災以降の2年、宮城県内では高校卒業時に就職も進学も決定していない「進路未定」状態の方が増えました。しかし2013年を境に下がり、2015年の調査では宮城県の「進路未定」状態の方は全国平均を下回っています。それでも約3割の方が「進路未定」状態となります。

日本では若年層の失業率が他世代に比較して高いことなども訴えられていますが、中学2年生というタイミングは、将来のキャリアに大きな意味があると考えられています。高校進学準備が始まる年で、学校での進路指導も本格化していきます。しかし、なかなかすぐには、2年後の高校入学や、その先にある大学への進学・就職に向けてじっくりと考えるのは難しいことも多いとWILLハート会では考えています。

イベントでは、キャリアを意識した積極的な進路選択を支援するため、ウィルグループで人材サービス業に従事する社員が、自身の体験を題材に語ります。「キャリアのプロ」が、自身の過去の体験を題材に「失敗・成功体験」を語ることで、中学2年生に向けて、「自分自身で考え、自分に向き合い、進路を決めること」の重要性を伝え、進路選択の意識向上に寄与することを目的としています。



当日の概要

- 開催場所：女川向学館
(女川町浦宿浜字門前4 女川第一小学校 仮設住宅前校舎1階)
- 参加予定人数：生徒15～20人弱、当社社員4人（24歳までの男女）
- タイムスケジュール：2月3日（水）
 - 18:00～18:05 プログラムの説明
 - 18:05～18:20 自己紹介
 - 18:20～19:00 特別授業の発表
(生徒が4～5名の4グループに分かれ、発表5分、質疑応答5分の特別授業を実施。前半・後半に分けて、2名の社員から順番に授業を受けていただきます。)

【取材お申込み・お問合せ】株式会社ウィルグループ ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。